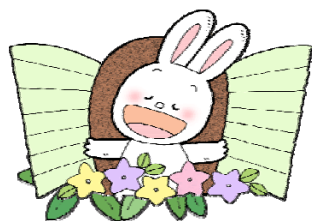




はぴ♥はぽ 6月号

~happy hapo~ no. 3



2014年5月25日発行

hapo (ハポ): アイヌ語でお母さんの意味

長沼町子育て支援センター 「はぴはぽ」

はいはいが始まると行動範囲も広がります。自分の思い通りに行動できることで、活動も活発になり表情も少し大人びてきます。この頃は簡単な大人とのやりとりもできるようになっています。「いないいないばあ」で見せてくれる笑顔見たさにこちらは何度でも隠れては変な顔をしてしまいますよね。持っているもののやりとりも大好きです。「どうぞ」「ちょうだい」を飽きずにずっとつきあってくれます。もう少しすると同じ絵本を何度でも「ヨンデ」ともってきたりもします。実はそれはただ単に遊びではなく、大人とのやりとりの中に、自分の存在を大切に想ってくれる人との時間を楽しんでいるのです。そしてこの人の気持ちを確認しているのです。そのやりとりが「ママと」から「ママとパパと」になり「ママとパパとおねえちゃん」とになりおじいちゃんとなりお友達と…とどんどん広がっていくのでしょうか。「愛されている自信」はとても大きな宝物です。今がそのとき。その宝物を手渡せるのは一番近くにいる大人の特権なのです。



	月	火	水	木	金	土	日
AM	2 mama-cafe	3	4	5 よちよち広場	6 サークル活動日	7	8
PM		←	Lunch	Time	→	もぐもぐ 田植え	
AM	9 身体測定	10	11 とくどく広場	12	13 サークル活動日	14	15
PM			Lunch	Time	→		
AM	16 mama講座	17	18	19	20 サークル活動日	21	22
PM		←	Lunch	Time	→		
AM	23	24	25 ちんちん広場	26	27 サークル活動日	28	29
PM		←	Lunch	Time	→		
AM	30 お誕生会	7/1	2	3 よちよち広場	4 サークル活動日	5	6
PM		←	Lunch	Time	→		

☆「はぴはぽ」のおたよりはまおいネットでも見る事が出来ます。

☆各広場・mama講座・もぐもぐサークル・初めましての日の時は一般開放していません。それぞれ申込みが必要です。

☆毎週金曜日の午前中は子育てサークル「ちびっこくらぶ」の活動日です。町内の子育てサークルのお友達が集まります。育児などの情報交換したい方・たくさんのお友達と遊びたい方は是非おいで下さい。

子育て支援センター「はぴはぽ」は、月曜日～金曜日まで、毎日利用できるところです。0歳から小学校に上がるまでのお子さんとその家族の方が利用できます。幼稚園や保育園に通っているお子さんや保護者の方もどうぞご利用下さい。

一般開放
(自由遊びの時間)
午前 10:00～11:30
午後 1:00～3:30

ランチタイム
(各自でお昼を用意してきてお食事ができます)
11:30～12:30

プログラムが入っていない時間帯は全て一般開放となっています。お気軽に遊びに来て下さい。

☆育児相談はお電話、面談、どちらも承ります。

〈子育て支援センター〉はぴ♥はぽ～Happy hapo

080-1976-7845



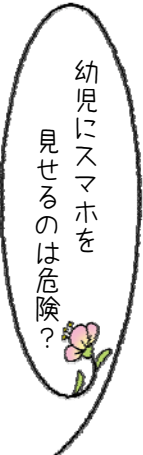
6月
mama-cafeの
おしらせ

6月2日(月)mama cafe
りふれ2階 10:00~12:00
6月のテーマは…
**新年度の疲れを癒す
初夏の爽やかフェア**
お菓子~レモンクリームサンド
ドリンク~ルイボステイ
参加ご希望の方は用紙にお名前を御記入ください。
当日不参加の場合の連絡は不要です。
当日はレモンより爽やかなスタッフがお待ちしております。

6月mama講座
「癒しのヘルスリズム」

自宅で子どもとできる簡単リトミック・手作り楽器作り・そして打楽器演奏体験と盛りだくさんの楽しい講座です。
お子さんが幼稚園保育園に通っているママや、プレママさんたちもどうぞ一緒に楽しみましょう！
*日時：6月16日(月) 9時55集合 10時開始
*場所：りふれ 2F 研修室
*講師：古館暁子さん(NPO法人リトミック 研究センター認定教室講師)
☆5月19日~ 子育て支援センターまでお申し込み下さい。託児の定員は15名ですが、大人の参加の定員はありません。

〈こんなとき どうしましょう?〉
◆言葉にしてあげる◆
お菓子売り場で、「買って買って」が始まりました。「買わない約束したから今日は買わないよ」と言われ、大号泣。その後…「ほしい気持ちはわかるよ。でも約束だから我慢しようね。早く帰って一緒にお風呂入ろうか」しばらくごねていましたが、割とすんなり我慢することができていました。
自己主張が出てくるとよく見られる光景です。その主張をくみ取って言葉にしてあげるといいようです。悲しい気持ちをわかってもらいたいのには大人も一緒ですね。「~したかったんだね」と言うのは案外魔法の言葉かもしれません。自己主張をくみ取って折り合いをつけていけば、のびのびとした心が育ちます。



Q 一歳の子どもにスマホを見せるとおとなしくなりますが「スマホ育児」は危険と聞きました。また、テレビを見せるのもよくないのでしょうか

A テレビやスマホも今や生活の一部ですね。あなたが忙しい時、ちよつと見せることが、すぐに有害というわけで和ありませんスマホ以外にも、手にとつて遊ぶおもちゃや相手をしてくれる大人、自然の音など、日頃の生活でよい刺激がたくさんあれば問題ないでしょう。

赤ちゃんはものを触ったりなめたり、音を聞いたりして五感を発達させます。また自分からおもちゃに働きかけ、たいたり動かしたりします。周りの人にも声を出し反応を促します。

そうすることで運動機能やコミュニケーション能力(言葉)が発達します。ニッコリするとお母さんもニッコリする、お父さんが抱っこしてばあーと言ってくれる。赤ちゃんが育つのはそんな環境です。

それに比べると、スマホやテレビは働きかけに反応してくれるわけでもなく、一方通行です。小さいお子さんにはあまり良い刺激とは言えません。

いつの時代も、人が人として育つのに必要なのは、機械ではなく人とのかわりでしょう。人とのかわりを通じて感情や感性、人間性が育まれ、生きる意欲も豊かになってきます。それを忘れずに、その上で便利な機器は適度に利用

しながら子育てを楽しんでください。(あいばさちこ)「母子相談室みずく」主宰カウンセラー
北海道新聞
「子育て相談室」より

自然界からの刺激は、複雑で優しい刺激なので五感を使ってキャッチする必要がありません。反対にメディアから送られてくるものは強くて単純な刺激。まだ脳がしっかりできていない乳幼児が、「強くて単純な刺激」を常に受けていると身の回りがあるそうです。

脳は場所によってそれぞれ違う働きをします。五感により様々な情報を認識するのは「前頭前野」と呼ばれる部分です。「こころ」は「考える」「人の気持ちがわかる」「自分の気持ちをコントロールする」などの時に働く、いわば「人間らしさ」を司る部分です。日常的にあまり使われないでいると、結果として「自分の気持ちや考えを伝えられない」「人の話が聞けない」「相手の気持ちがわからない」「想像力、創造性がない」ということになってしまいます。

人と関わることはこの前頭前野を活発に働かせることにつながります。

五・六歳までの「人間としての基礎」が作られる時期には、電子メディアとの接触より、家族とふれ合う時間を増やすこと。一緒に話したり遊んだり、五感を使うようなことをたくさん体験することがその後の人間形成には大切なことだそうです。

(参考：母の友4月号
電子メディアと子どもたち
諏訪清隆氏II
旭川赤十字病院)



ばぶばぶTIME

♡日時♡
6月26日(木)
13:30~

♪場所♪
子育て支援センター

0歳児限定の「ばぶばぶTIME」おしゃべりと遊びの場です。どうぞお気軽においで下さい。上のお子さん同伴でかまいませんよ。



プレママさんや、プレママさん予定者の方も、遠慮せず是非おいでください。

←こんな感じでまったりと過ごしています♪

お誕生会
6月30日月曜日

6月30日(月)は6月のお誕生会です。6月生まれのお友達はいませんか~!お友達にお誕生日をお祝いしてもらいましょう♡



参加希望の方は、3日前までにお申し込み下さい。お祝い下さる方も募集中です!

★10時から始まりますので、5分前には皆様お集まり下さい。

7月の予定

- 1日(火) 初めましての日
- 3日(木) よちよち広場
- 7日(月) mama-cafe
- 9日(水) とことこ広場
- 14日(月) 身体測定
- 21日(月) 海の日
- 23日(水) らんらん広場
- 24日(木) 講談社おはなし隊
- 25日(金) もぐもぐサークル ~夏休み
- 28日(月) おたんじょう会
- 31日(木) ばぶばぶTIME